

～米国ワシントン D.C. におけるオフィスビル開発事業～

「(仮称) 1200 17th ストリート開発計画」用地取得

- この度、三井不動産株式会社の米国子会社「Mitsui Fudosan America, Inc (三井不動産アメリカ、代表者：吉田幸男)」は、ワシントン D.C. におけるオフィスビル「(仮称) 1200 17th ストリートビル開発計画」の開発用地を取得しましたので、お知らせいたします。
- 当社グループは、海外事業を成長分野の一つに位置づけ、米国ではニューヨーク、ワシントン D.C.、サンフランシスコの 3 都市において合計 6 棟(本物件を除く)のオフィスビルを保有し、賃貸事業を展開している他、ハワイにてハレクラニホテルを含む 2 棟のホテル事業を行っております。
- 本物件は、ワシントン D.C. のプライムオフィス立地である CBD 地区に所在し、市内でも有数の商業集積があるコネチカットアベニューに近く、主要幹線から 1、2 ブロック離れた閑静な環境に立地しています。建物計画については、三方道路の立地を活かした明るい採光計画とし、屋上にルーフバルコニー、地下にトレーニングジムを設置するなど、オフィスワーカーのサービス機能を充実させます。
- 三井不動産アメリカのワシントン D.C. におけるオフィスビル事業は、「1090 バーモント(同社所有)」、「700 6th ストリート(2011 年 6 月売却済)」、「ホーマー・ビルディング(同社所有)」に次いで、本物件が 4 件目となります。所有する前述の 2 物件については、地元有力デベロッパーである「アクリッジ」と所有・管理運営の共同事業を行っており、本物件も同様となります。当社グループはワシントン D.C. をニューヨークと並ぶ米国の重要拠点と位置付けており、今後も同社とのパートナーシップを強化し、更なる事業機会の獲得を目指してまいります。
- 当社グループは「イノベーション 2017」で掲げるグローバル化への取り組みとして、今後、さらに積極的に海外事業を展開してまいります。欧米エリアにおいては、オフィスビル賃貸事業を中心に良質なポートフォリオの構築を目指します。アジアにおいては、経済成長と都市化の進展により需要が拡大する住宅分譲事業と、個人消費の成長を取り込める商業施設事業を中心に展開します。



左：完成予想パース（北東側外観）

右：完成予想パース（南東側外観）

<計画概要（予定）>

名 称	1200 17 th ストリート開発計画
所 在	1200 17 th Street NW, Washington D.C.
敷地面積	17,013sf（約478坪）
主要用途	事務所、店舗
貸床面積	168,757sf（約4,742坪）
建物規模	地上11階 地下2階
スケジュール	2012年9月 既存建物解体着工 2013年3月 本体着工 2014年9月 竣工（予定）

<位置図>

